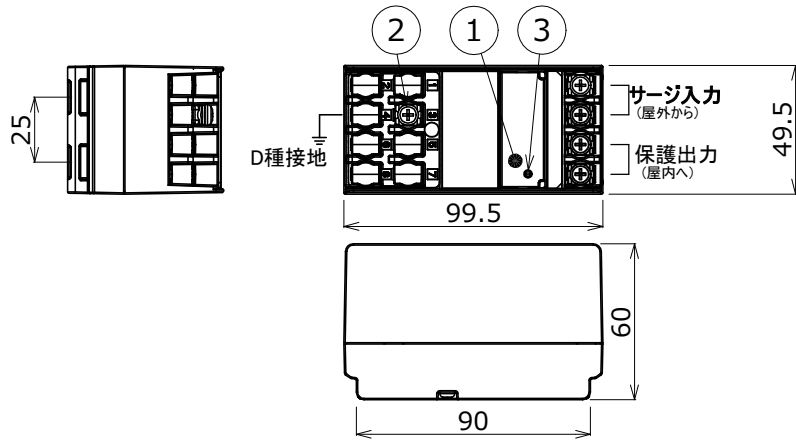
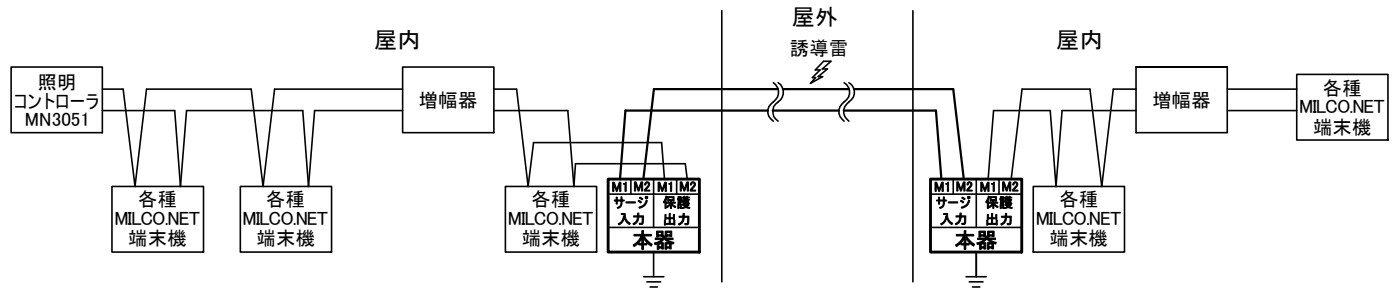


## 外形図 JIS協約寸法(2個用)



## 施工例



屋外配線を屋内に引き込んだ直後に設置してください。(屋外配線の両端)

## 仕様

### 使用方法

- アース端子は必ずD種接地を施してご使用ください。
- 本器の信号端子のサージ入力側に屋外から、保護出力側に屋内への通信線を接続してください。逆に接続するとサージ保護機能が動作しません。
- 定期的(1年に1回等)に、LED表示ランプの動作状態を確認してください。また、付近で落雷した場合も、LED表示ランプの動作状態を確認してください。  
サージ保護機能が失われるとLED表示ランプが消灯します。
- LED表示ランプが消灯した場合は本器を交換してください。
- 本器は、φ0.9の通信線の場合は85m分、φ1.2の通信線の場合は50m分に相当する抵抗値があります。  
最遠配線長を計算する場合、φ0.9の通信線の場合は85m×本器の台数分、φ1.2通信線の場合は50m×本器の台数分の配線長を減じて計算してください。  
必要に応じて増幅器を追加してください。

項目	仕様			
機能	屋外に通信線を配線するなど、誘導される雷サージに対して機器の保護を行います。本製品の性能を超える、雷サージからシステムを保護することはできません。			
使用区分	盤内			
定格入力通信電圧	±30V			
定格入力通信電流	500mA			
通信仕様	通信方式 MILCO.NET通信(2線式ランダム伝送直流パルス方式、無極性) 入力通信電圧 ±24V 通信消費電流 0.6mA 直列抵抗(片線) 1Ω (±10%) 適合電線 OPEV,FCPEV φ0.9mm×1P,φ1.2mm×1P (※2)			
性能	電圧保護レベル 通信線-GND線 90V±20% 通信線間 39V±10%			
	雷サージ耐久性 (※1)	通信線片線	(1.2/50μs波形) 10kV印加 (8/20μs波形) 5kA短絡電流	正負各5回
		通信線二線一括	(1.2/50μs波形) 10kV印加 (10/350μs波形) 1kA短絡電流	正負各1回
			(1.2/50μs波形) 20kV印加 (10/350μs波形) 2kA短絡電流	正負各5回
		通信線間	(1.2/50μs波形) 10kV印加 (8/20μs波形) 5kA短絡電流	正負各5回
	(1.2/50μs波形) 10kV印加 (10/350μs波形) 1kA短絡電流	正負各1回		
保護機能消失時状態	通信可能状態			
使用環境	使用周囲温度: -10~40°C 使用周囲湿度: ~85%RH 結露しないこと 屋内(但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所)			

(※1) JIS C 5381-21:2004によるコンビネーション波形、60秒間隔。

耐久性以上のサージ電圧や回数が印加されるとサージ保護機能が失われます。

(※2) FOPEV線を使用する場合は、アルミテープの接地工事は不要です。

複数のOPEV-S線を使用して接地工事を行う場合は、系統毎に1点接地を実施し、別系統のOPEV-S線のシールドと連結しないでください。  
別系統のOPEV-S線のシールドと連結すると、信号が相互干渉し、通信できなくなる場合があります。

検認	8					MILCO.NET
船山	7					通信保護ユニット
	6					
照査	5					形名
中井	4					MN3001A
	3	LED表示ランプ		1	赤	—
設計・改定	2	端子ねじ	鉄、ニッケルメッキ	5	M4	質量
柴田	1	本体	PC	1	黒	0.05 kg
	品番	品名	材料	数	備考	函番
						EY27146-C